

令和5年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 都立桜町高等学校 学校運営連絡協議会（定時制課程）
- (2) 事務局の構成 = 経営企画室主事、副校長1名（書記兼務） 計2名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画室長、教務主任、生活指導主任、進路指導主任 計6名
- (4) 協議委員の構成（氏名の掲載も可）
世田谷区立三宿中学校夜間学級副校長、世田谷区教育委員会適応指導教室相談員、玉川警察署少年係長、専門学校広報本部本部長、地域商店街振興組合副理事長 計5名

2 令和5年度学校運営連絡協議会の概要

(1) 学校運営連絡協議会の開催

第1回 令和5年 6月23日（金）内部委員6名、協議委員5名

委員委嘱（協議委員名簿・内部委員名簿）、令和4年度学校経営報告、令和5年度学校経営計画、本校の現況報告、意見交換、意見聴取、他

第2回 令和5年11月17日（金）内部委員6名、協議委員2名

（欠席・世田谷区立三宿中学校夜間学級副校長、世田谷区教育委員会適応指導教室相談員、専門学校広報本部本部長）

本校の現況報告、令和5年度学校評価アンケート（学運協委員・教職員・生徒・保護者、4種）について、説明、配布、回収、意見交換、意見聴取、他

第3回 令和6年 2月 9日（金）内部委員6名、協議委員4名

（欠席・世田谷区教育委員会適応指導教室相談員）

本校の現況報告、令和5年度学校評価アンケート結果、令和5年度学校評価のまとめ、説明、質疑、「学校が良くなったかどうか」についてのアンケート配布、回収、意見交換、意見聴取、次年度に向けた桜町定の取組み、他

(2) 評価委員会の開催

第1回 令和5年 6月23日（金）内部委員6名、協議委員5名

第2回 令和5年11月17日（金）内部委員6名、協議委員2名、欠席委員へは後日資料送付、昨年度実施の問題点・改善点、今年度の学校評価の実施に向けた検討

学校評価アンケートの作成・検討、調査方法、方法確認、結果の分析・検討、報告について

第3回 令和6年 2月 9日（金）内部委員6名、協議委員4名、欠席委員へは後日資料送付、

令和5年度学校評価のまとめの主な点の説明、結果発表、次年度に向けた改善点、事務連絡

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

(1) 学校評価の観点

「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。

(3) アンケート調査の実施時期・対象・規模

令和5年11月後半に生徒・保護者・教職員・地域関係者に実施した。

- ・11月 全校生徒 対象：24人 回収：22人 回収率：91.6%
- ・11月 保護者全員 対象：24人 回収：12人 回収率：50.0%
- ・11月 協議委員 対象：5人 回収：3人 回収率：60.0%
- ・11月 教職員 対象：8人 回収：8人 回収率：100.0%

(3) 主な評価項目

・※学校運営、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動・部活動、健康・安全、施設・設備・いじめ・学校対応などの評価項目を集約し、学校実態に合わせて適宜設定する。

(4) 評価結果の概要（学校及び校長への意見・提言内容）

アンケートの集計より、評価が低い項目や気になる質問に絞り、改善点をさぐる。

【学運協協議委員の集計より】評価のほとんどがA、Bのどちらかで、C、Dは無かった。学校に対して非常に好意的に評価を頂いていると感じる。協議委員からも常に平均以上の評価を頂き、定着していると受け止める。しかし、Bの回答の占める割合が多いと感じる。主な項目を記してみる。③学習活動、学校行事、部活動等で特色ある教育活動が行われていると思いますか。⑤学校の施設・設備は、衛生的に管理されていると思いますか。⑨生活指導に当たって、保護者との連携が図られていると思いますか。学習活動、学校行事、部活動等においては、学校側でも生徒の要望を取り入れて特色ある教育活動に向けた取組を行っている。学校の施設・設備は安全を重視し、衛生面にも気を付けた管理を実施していく。また生活指導や課題に対しては、課程や保護者との連絡を密にし、今後も連携を図っていく。

【生徒の集計より】生徒へのアンケート結果は、ほぼ好意的に受け止められている。今後も生徒からの要望にアンテナを張り、事由実した学校生活や、良き成功体験を経験し、卒業後を見据えた指導をしていく。生徒の回答で、特に評価の低い項目を挙げてみる。[3]本校の学習・行事・部活動などで、他校にはない特色はあると思いますか。[4]本校での学校生活は、自分にとって充実していると思いますか。[13]本校の教職員は、進路に関して皆さんの抱える様々な悩みを見逃さず、対応してくれていますか。在籍する生徒の数にてなかなか特色は出づらい面はあるが、本校ならではの視点で取り組んでいく。出来るだけ在学期間中に将来に向けたビジョンを持ち、方向性を探って欲しい。支援体制を整えて待ちたい。募集活動を充実させて、入学生徒・転編入生徒を増やしていきたい。

【教員の集計より】日常的に生徒との関わりを基に生徒理解を進めており、全般的に生徒に対し好意的に捉えている傾向がみられる。生徒との関わりや会話の機会を増やす取り組みを試みている。やはり評価の低い項目を挙げてみる。[11]本校の進路指導は、方針を明確にし、保護者や関係諸機関との連携を保って行われていますか。[12]生徒に対し、望ましい勤労観や職業観を身につける指導を行っていますか。[13]進路情報収集・提供・発信し、生徒一人ひとりを大切にした進路指導を行っていますか。コロナも一定の収束をし、以前の学校生活の状況に戻りつつある。コロナとも共存しながら、生徒会活動や行事等において、少しずつ活発化してきている。球技大会等、かなり盛り上がっていた。

【保護者の集計より】毎年全家庭の保護者を対象として、保護者へアンケート用紙を配布するが、回答数がやはり少ない。ただここ数年、回答頂く保護者からは学校への好意的な内容、期待、感謝のことばを頂く半面、手厳しい内容も見られる。集計結果のその他へ、ご意見を掲載した。一読し、具体策を考えて日々の教育活動に役立てたい。

○学校としては取り組んでいる項目も、やはり外部からは見え難いと感じた。今後とも継続努力するが、保護者からは感じづらく、進路指導が見えるようになる一つは、生徒が家庭で学校の様子を話す事だと痛感した。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

部活動の活性化、家庭との連携などが来年度への課題である。多様な生徒に対して適切な指導を行い、教育活動を更に工夫し、本校の特長を明確にしていく必要がある。

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・今年度の成果：学校全体として、落ち着いてきた感が見えて来た、生徒の定着が進んだ。
- ・来年度の課題；次年度以降も一人ひとり個別の指導を丁寧に行う、指導実践が求められる。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・桜町高校に対する関心があり、近隣の住民からの乖離が感じられる。
- ・保護者等と連携を図った形での進路指導が求められている、生活指導を継続指導していくこと。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

(1) 学校運営

- ・日常の授業での充実、生徒端末の導入、定着。生徒・保護者を通して学校から情報発信をする。

(2) 学習指導

- ・基礎基本の徹底を図った授業充実、端末導入での指導実践を進め、教育の授業力を高める。

(3) 特別活動

- ・日常での授業充実、放課後の部活動時の確保、学校行事の活発化、活性化を図る。

(4) 生活指導

- ・日常の出欠指導を徹底し、家庭訪問等継続し、家庭連携の緊密に図り実行していく。

(5) 進路指導

- ・本人と保護者と学校の三者が緊密に連携し、希望する進路実現を目指す指導を図る。

(6) 健康・安全

- ・基本的生活習慣の定着を図る。定期的に生徒との意思疎通や情報を共有を図る。

6 「学校がよくなった」と考える協議委員の割合 (1) 協議委員人数 4人

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
3					2	

7 その他

- 今年度思い切って質問項目を精査した。経年変化も含め、より具体的な要望を捉え学校改善に取り組みたい。